

Windows 8 ご利用者向け

患者データバックアップ手順

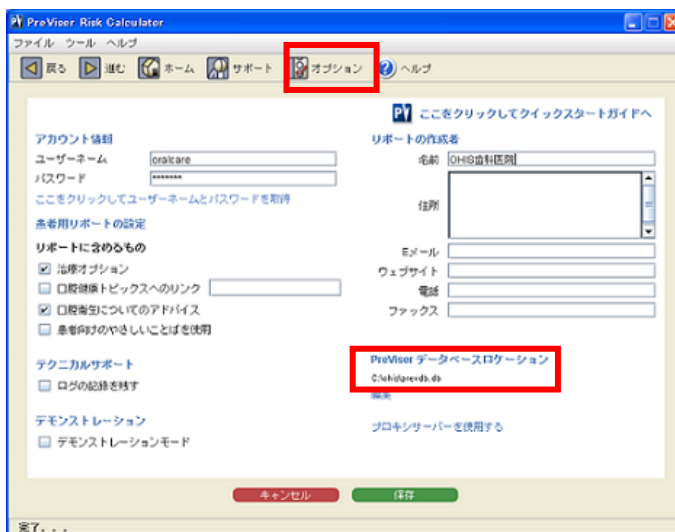
バックアップとは……

パソコンに保存されたデータを、故障などの事態に備え、別の記憶媒体に保存すること。

OHIS では「prevdb.db」ファイルに患者データを保存しています。

本手順書では「prevdb.db」をコピーし、CD-R や USB メモリなどの記憶媒体に保存する方法を記載しています。

【STEP1】 患者データが保存されている場所を確認



①
OHIS を起動し、「オプション」をクリック

②
“PreViser データベースロケーション”に表示された患者ファイル S の保存場所を確認*

*患者ファイルの保存場所（表示例）

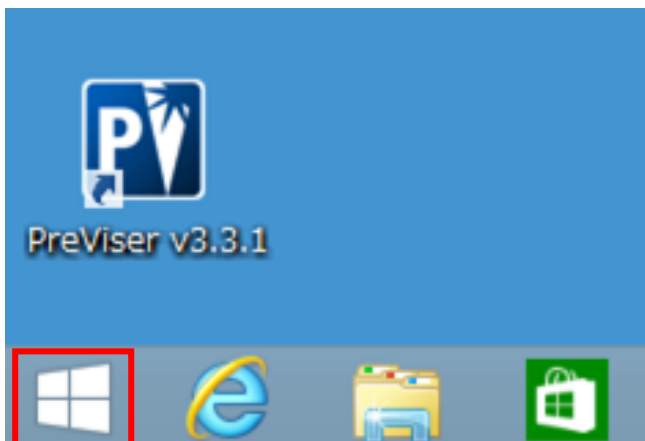
C:¥PreViser vX.X.X¥prevdb.db

ファイルがある場所

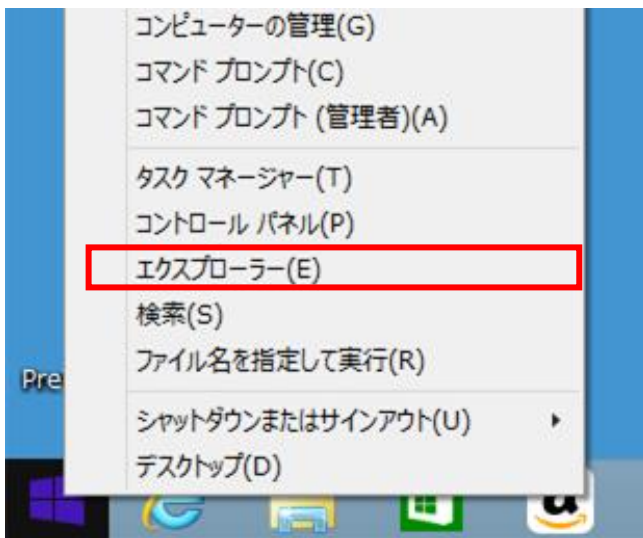
患者ファイル

※PreViser vX.X.X はバージョン情報になります

【STEP2】 患者データが保存されている場所に移動

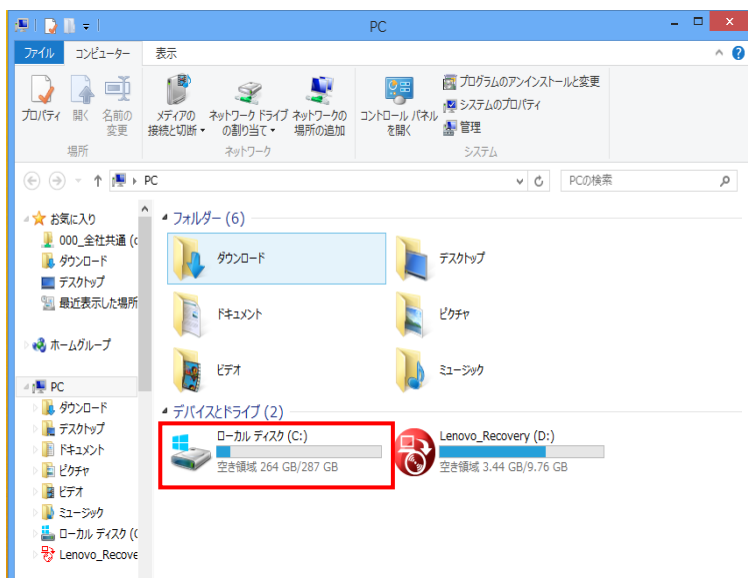


①
デスクトップのスタートを右クリック



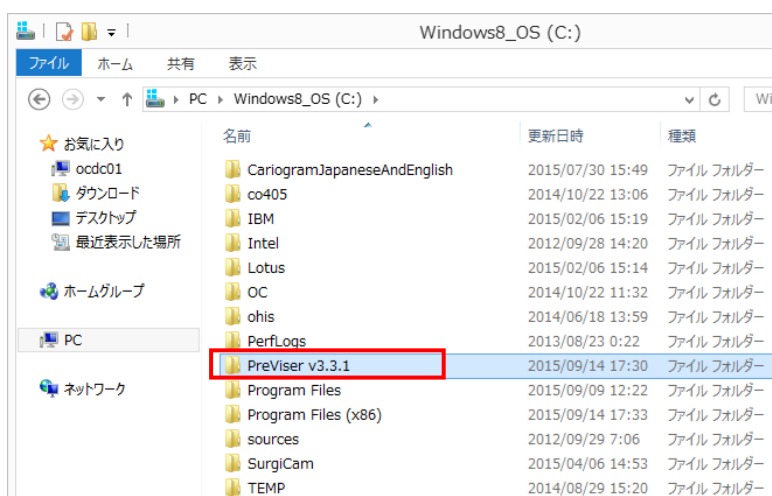
②

「エクスプローラー」をクリック



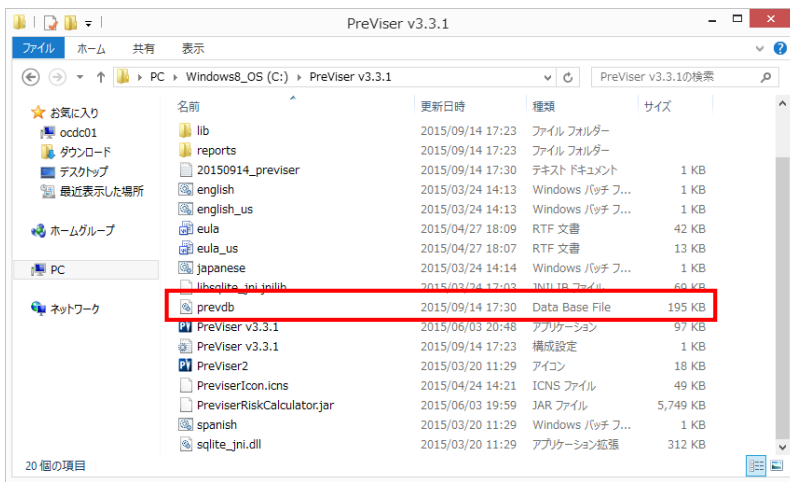
③

「ローカルディスク(C:)」をダブルクリック



④

「PreViser vX.X.X」をダブルクリック



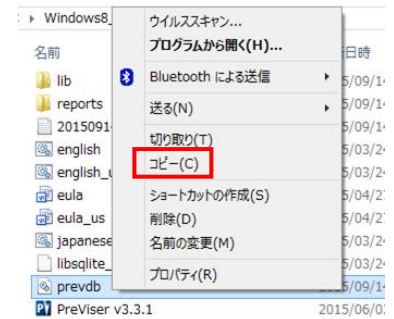
⑤

「prevdb」ファイルのファイルサイズを確認

※後ほど確認のため

⑥

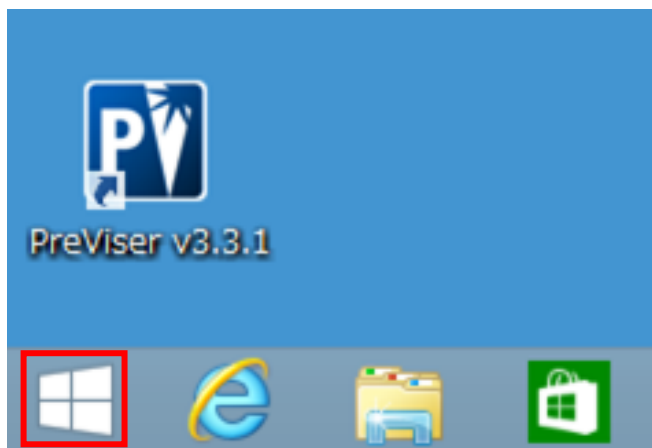
「prevdb」を右クリック→「コピー(C)」をクリック



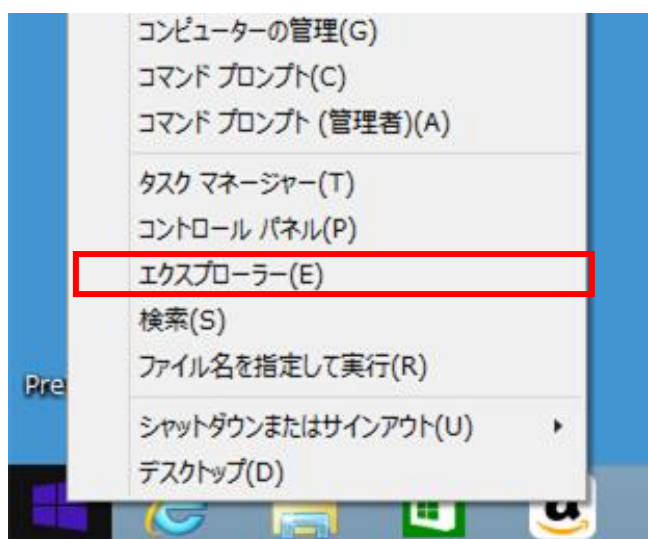
【STEP3】 USB メモリや CD などの記憶媒体をパソコンに挿入

例) USB メモリに保存する

- ①
デスクトップのスタートを**右クリック**

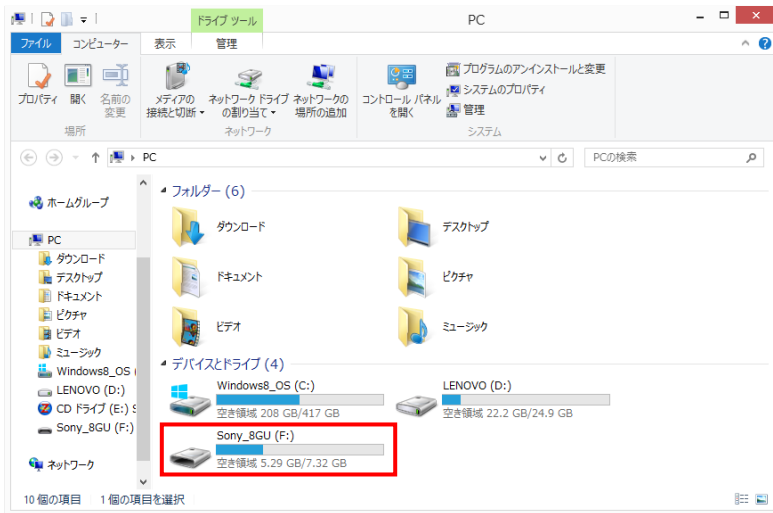


- ②
「エクスプローラー」をクリック

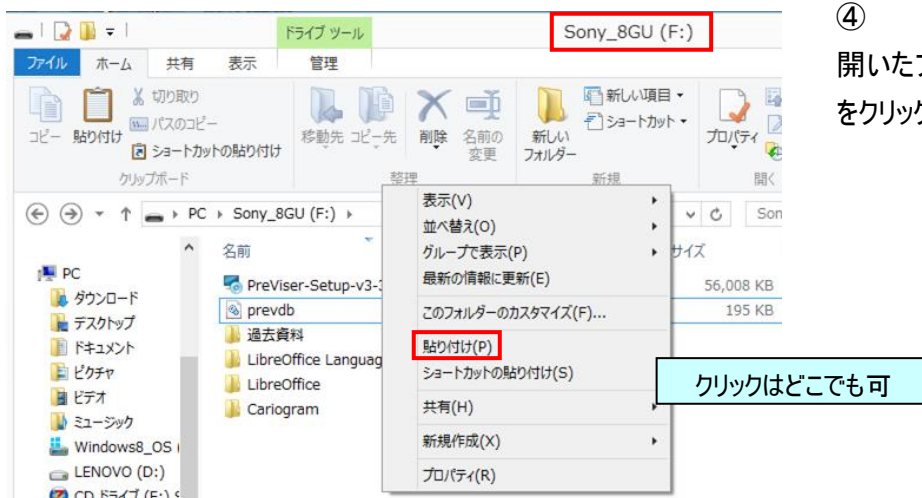


③ 「デバイスとドライブ」の中から、認識した USB メモリデバイスをダブルクリック

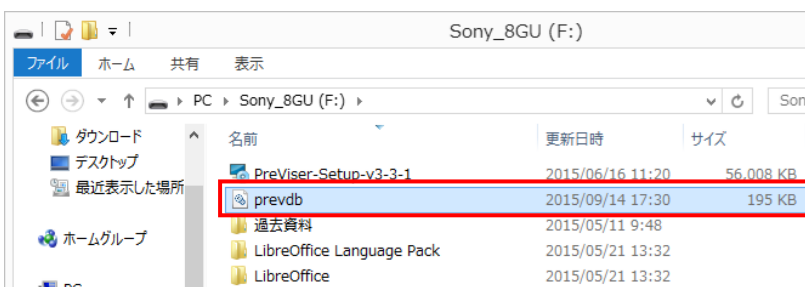
注) デバイス名やドライブ名は媒体のメーカーや使用状況によって変わります。



④ 開いたフォルダの中で右クリックし、「貼り付け(P)」をクリック



⑤ ファイルサイズが、コピーしたファイルと同じサイズか確認



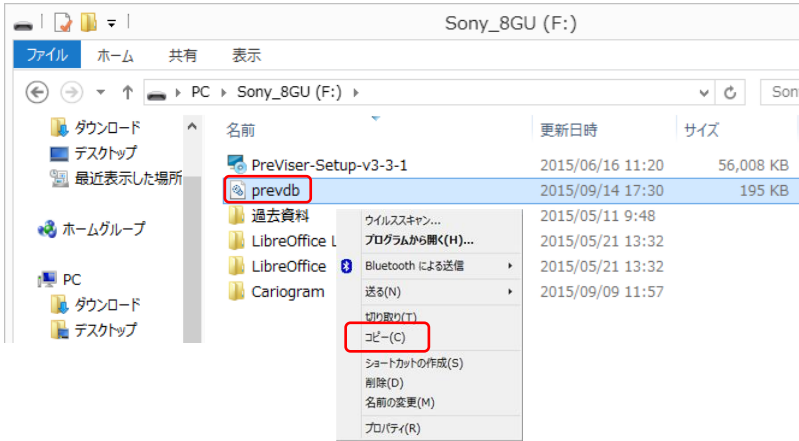
【STEP4】バックアップした患者データを戻す手順

バックアップした患者ファイルを元の場所に移動する。

①

患者ファイルをバックアップした記憶媒体をパソコンに挿入し、ファイルを表示させます

右クリック→「コピー(C)」

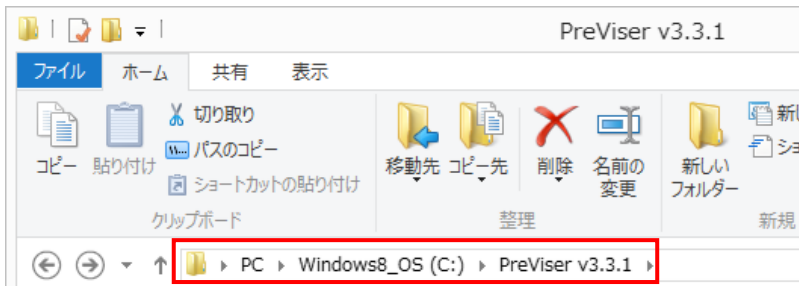


②

コピー元のフォルダに移動※

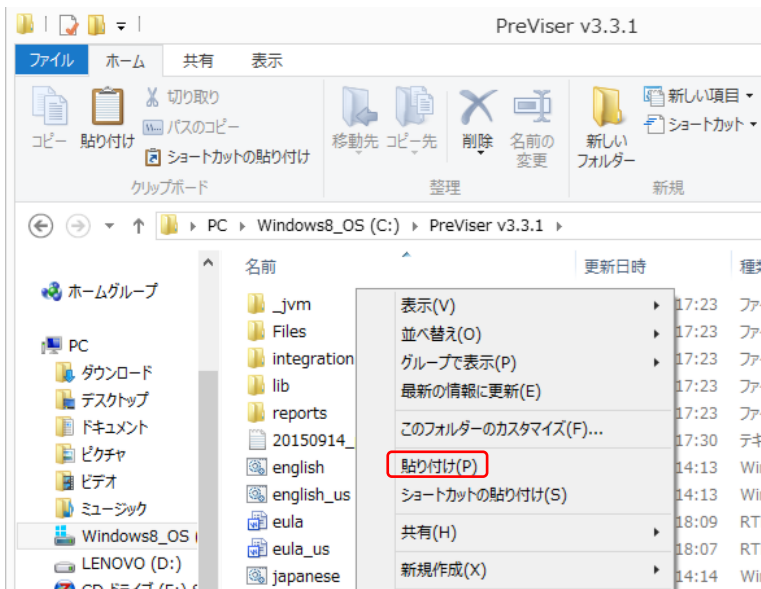
C:¥PreViser vX.X.X

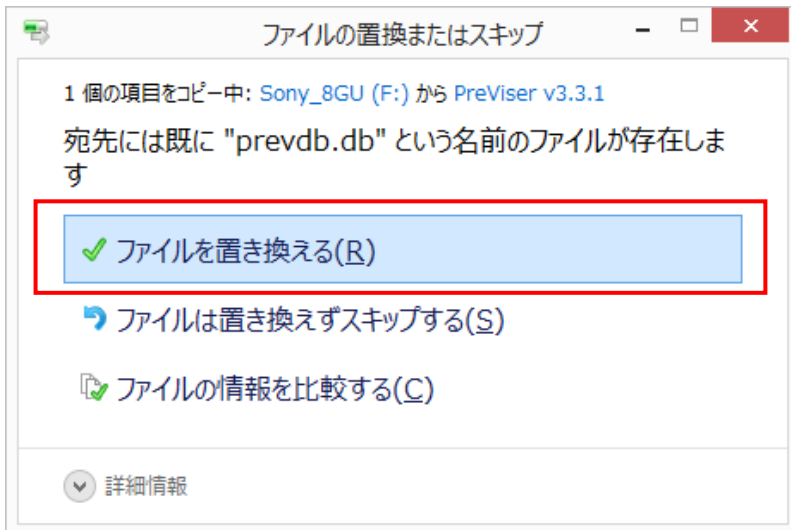
※OHIS-「オプション」画面の“PreViser データベースロケーション”に表示されているフォルダに移動→1 ページ目参照



③

フォルダに移動したら、右クリック→貼り付け(P)





※コピー先に患者ファイルがある場合、下図のメッセージが表示されます→赤枠をクリック

上書き保存する場合、バックアップしたファイルがコピーされますので、存在していたファイルデータの情報は消えてしまいます。上書き保存する際は注意が必要です。

以上で、バックアップした患者データを戻す手順は完了です。OHISを起動し、今まで診断された患者が表示されているか確認をお願いします。